



◎本ニュースレターは、木曾三川流域におけるエコロジカル・ネットワーク形成に関連する地域の取り組み情報を発信するものです◎

いよいよ2025年の始まりです。年明け早々1月12日の「エコネットカフェ」にご参加いただいたみなさま、お疲れ様でした！ その時の様子は次号で紹介しますのでお楽しみに！ 今号では、2024年後半のみなさんの活動報告が、まだまだありますので紹介いたします。ぜひご覧くださいね。

〔岐阜県海津市〕

2024年10月19日(土)

国土交通省 木曾川下流河川事務所様より  
活動報告です！

## 海津アクアマルシェへ ニホンウナギ生態系ネットワークの PRブースを出展しました！

木曾川下流河川事務所では、ニホンウナギ生態系ネットワーク推進部会の活動の一環として、令和6年10月19日(土)に国営木曾三川公園アクアワールド水郷パークセンターで開催された「海津アクアマルシェ」にPRブースを出展しました！

令和4年度から今回で3回目の出展となり、毎年多くの方々にご来場いただいています。PRブースでは、ニホンウナギ生態系ネットワークの活動紹介のほか、海津市内の川で獲れた天然ウナギと市販の養殖ウナギの違いの観察、ニホンウナギのふれあい体験、ニホンウナギを捕獲するための伝統漁法であるウゲ、ツツ等の展示を行いました。



▼ニホンウナギのふれあいコーナーは毎年好評です！

▲ニホンウナギの生体を間近でじっくり観察できる貴重な機会。海津市内の川で獲れた天然ウナギと市販の養殖ウナギの違いは何だろうか？



◀PRブースの様子。パネル展示やニホンウナギを捕獲するための伝統漁法であるウゲ、ツツ等の展示も行いました。

▼ウゲ、ツツ等の展示。



特に、ニホンウナギとのふれあい体験は子どもたちから「かわいい！」と大人気で、何度もブースを訪れてくださるご家族もいらっしゃいました。ニホンウナギとふれあうことで、より身近に感じて頂くことができたと思います。

また、今回イベントに参加されていた釧路市観光大使の方が執筆している釧路新聞のコラムに、ニホンウナギ生態系ネットワークのことを紹介して頂きました。

今回は、あいにくの天気でしたが、ニホンウナギ生態系ネットワークの活動を知ってもらう良い機会になったのではないかと思います。

〔岐阜県池田町〕

2024年11月17日(日)

池田町ハリヨを守る会様より活動報告です！

## 5年ぶりに開催 「健康・福祉・エコフェアいけだ」で ハリヨ保護活動をPRしました！

11月17日(日)に、池田町中央公民館・役場庁舎内で「健康・福祉・エコフェアいけだ」が開催され「池田町ハリヨを守る会」も出展しました。このイベントは、コロナ禍を挟んで5年ぶりの実施です。その間に役員の交代などもあり、準備は手探り状態で進められた中での会場展示となりました。

当日は、アクア・トト様からお借りした「ハリヨ」や「ハリヨ池に生息する生き物」を水槽で展示し、資料として「上八幡区ハリヨを守る会」の歴史や通年活動についてのパネル展示を行いました。

また、来場していただいた方には、先着100名限定で「ハリヨどら焼き」と、木曾三川流域エコネット応援団事務局様からご提供いただきました「缶バッジ」と「クリアファイル」を配布しました。

展示会場では「ハリヨを初めて見た」「子どもの頃との環境の違いに改めて驚いた」など、様々な声が聞かれました。

今年度の取り組みを生かし、令和7年度以降も「ハリヨ保護活動」を地域へと広めてまいります。



▲賑わっているハリヨを守る会の展示ブース(上)水槽で実物のハリヨの展示も行いました(右)



▲ニュースレター25号で紹介した「池田町ハリヨを守る会」のオリジナル「ハリヨどら焼き」も配布しました！



# 『138ひつじフェスタⅩ』を終えて

尾西信用金庫様より活動報告です!

2011年12月から地域経済の活性化を図るため、尾西信用金庫の呼びかけにより、地域の団体や企業等をメンバーとする「一宮活性化プラン協議会(事務局:尾西信用金庫)」が発足。一宮市は繊維の街として繁栄、毛織物の原材料である羊毛(ウール)を提供してくれる「ひつじ」に着目し、イベントの開催を通じて街を元気にすることをコンセプトとしました。

イベントの一つに、尾西信用金庫中島支店の敷地内で「138ひつじフェスタ」を毎年10月に開催。愛知牧場様のご協力で本物の羊にえさやり体験が出来るイベントで、今回で9回目となり来場者数も500名程のイベントとなっています。

また弊庫は、生物多様性に貢献する取り組みを永年続けた結果、2022年11月「あいち生物多様性認証企業」に認証され、生物多様性の保全に関する普及啓発の1つとして「イタセンパラ100人アンケート」を実施しています。今回の「138ひつじフェスタⅩ」においてもこれを実施、絶滅危惧種IA類であることを徐々に周知いただけており、これからも継続して広報活動をしていきたいと考えております。



▲羊へのえさやり体験。はらべこな羊たちは我先にと、えさへ食いつきます。



◀イタセンパラアンケート。イタセンパラが絶滅危惧種だと知っている人も徐々に増えてきています。

# 絶滅危惧種イタセンパラのミュージカルイタセンパラパラパラダイス

劇団シンデレラ様より活動報告です!

10月20日(日)に「一宮市子ども環境イベント エコフェス」にて、イタセンパラをテーマした演劇を公演しました。

私たち劇団シンデレラは、物言わぬ生き物たちの声を届けようと実際にフィールドワークをして感じたことをミュージカルにして広げる活動をしています。

今回は、地元の木曾川に棲む、絶滅危惧種のイタセンパラについてのミュージカルや展示、クイズラリーを通して伝えることができ、このような機会をくださった、主催者の皆さんに大変感謝しています。来場者の方がワークショップなどで環境や生き物について向き合っている姿に団員一同とてもうれしく思いました。子どもたちの笑顔に私たちもたくさん元気をもらいました。

今回のイベントを通して一宮の自然をみんなで考えて守っていききたいと思えるキッカケになったら私たちもとてもうれしいです。



◀当日の公演の様子。団員一同も子どもたちから元気をもらいました!



# 第11回イタセンパラ塾を開催しました!

羽島市市民協働部生涯学習課様より活動報告です!

10月26日(土)に、羽島市防災ステーション及び木曾川河川敷にて「第11回イタセンパラ塾」を開催しました。

今年は、愛知県一宮市の「劇団シンデレラ」から、ぜひ羽島市のイベントでイタセンパラの劇を披露したいという要望をいただいたことから、イタセンパラ塾で劇を上演していただくことになりました。楽しい音楽やダンスを交え、イタセンパラを取り巻く環境問題をわかりやすく説明した劇となっており、参加者達は熱心に見入っていました。

その後、木曾川河川敷に移動し、プールに入れた木曾川に生息する様々な生き物を網で捕まえ、名前や外来種等を調査しました。参加者は自ら捕まえた生き物をじっと観察し、図鑑を見たり質問をしたり、楽しく、また真剣に学ぶ姿が見てとれました。



▲木曾川河川敷での活動の様子。プールで外来種等の調査をしたり、みなさん、楽しく、真剣に学んでいます。

!ぜひご覧ください!  
SNSで  
情報を発信中!



Instagram



[https://www.instagram.com/kiso\\_econet/](https://www.instagram.com/kiso_econet/)



Facebook



<https://www.facebook.com/kisosanseneconet/>



木曾三川流域生態系ネットワーク推進協議会(事務局:国土交通省木曾川上流河川事務所)は、川とともに育まれてきた流域の自然や文化を保全活用し、地域の魅力を向上させるとともに、人と自然・人と人との絆を深めることを目的とし、流域の市民団体・自治体・有識者・河川管理者等によって、平成26年度に設立されました。

本協議会では、木曾三川流域において、自然環境を保全・再生・創出してつなげる「生態系ネットワーク形成」に関連する活動を行う(または賛同する)、地域のさまざまな団体等に参加していただく「木曾三川流域エコネット応援団」を結成しています。応援団の皆さんの活動に関する情報共有等を図ることにより、地域の交流・協働を促進し、取り組みのさらなる発展を目指していきます。

「木曾三川流域生態系ネットワーク」ホームページ

ニュースレターのバックナンバーはこちらから↑  
<https://www.cbr.mlit.go.jp/kisojo/econet/index.html>

